

戦評

大会名 県民共済カップ
第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦
日時 令和5年10月28日～29日
会場 青森県武道館

女子決勝（10月29日）

青森西高等学校 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25-9 \\ 25-9 \\ 25-12 \end{array} \right\}$ 0 八戸西高等学校

ファーストレフリース 工藤 治
セカンドレフリース 工藤 雄也

7年連続20回目の選手権大会出場を目指す青森西高等学校（以下青西）と初の出場を目指す八戸西高等学校（以下八西）の対戦。第1セットは、序盤青西は速攻を中心に加点していくのに対し、八西も河村、川崎のスパイクで加点していく。中盤以降、青西の速攻とサイド攻撃が効果的に決まりリードを広げていく。終盤も中田のスパイク、佐藤のブロックが決まり25-9で青西が第1セットをとる。第2セットも、青西は速攻を中心に攻撃を組み立て序盤からリードを広げていく。中盤以降も青西小寺のライト攻撃が連続で決まりリードを広げていく。八西も河村のスパイクで打開しようとするが、青西の高いブロックが機能し流れを渡さず25-9で青西が第2セットをとる。第3セットも、青西齋藤、金沢のスパイクが6連続で決まりリードを広げていく。中盤以降は八西も川崎、河村のスパイクで意地を見せるが、青西も着実に加点していく。最後は青西松橋のレフト攻撃が決まり25-12で青西が第3セットも取り、7年連続20回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 村元 直記